

港中だより

伊勢市立港中学校 No.20

H31. 1. 25

校長 金森 晃生

港中人権フォーラム

19日に「港中学校人権フォーラム」を行いました。全校で取り組む港中のフォーラムは形式は少しずつ変わってはいるものの、伊勢市が主催する人権フォーラムと同じような形式で本校の取り組みとして長く続いています。今年度も保護者のみなさまや小学校の先生や教育委員会の方々にもご参加いただき、開催しました。



今年度はフォーラムの前に生徒会が主催した「いいねカード」の取り組みが報告されました。この取り組みは昨年から“いじめをなくす”をスローガンに各クラスで自分以外の人の‘いいところ’を見つけ、それをクラスで発表しあうものです。その取り組みに対して、生徒会本部役員が感想を述べました。さらに本部役員以外の生徒からも感

想が出されました。いくつかを紹介します。

- ・自分のそんなところを人は見てくれているのかと思うと嬉しかった。
- ・周りの人に認めてもらえた。
- ・ほめてもらってちょっと恥ずかしかった。
- ・自分も人のいいところを見つけていきたい。



など、「いいねカード」の取り組みに対する感想が発表され、最後に本部役員の千原さんがこれからの港中は生徒全員で“いじめをなくし、起こらないような学校を目指す”ことを宣言してくれました。生徒会が取り組んだ結果、みんなが一人ひとりを認め合い、各クラスでお互いが信頼できる、そんな仲間を作ることができたと思います。



その後、実行委員の司会でフォーラムが始まりました。まずは開会のあいさつで私から生徒のみなさんに次のような話をしました。

人権とは「誰もが幸せに生きるための権利」「人が生まれながらに持っている権利」と言われます。私はその人権を守るために2つのことをいつも意識しています。1つは「思いやりの心を持つこと」です。もう1つは「みんな違うことは当たり前で、その違いを認めること」です。このことを実行することによって私は「人権」を守ることができると思っています。この2つを実行するよう心がけています。



次に各学年1人の代表者が作文発表をおこない、それをもとに全校生徒が意見を出し合いました。各学年の作文は1年生は出口晃大さんの「障害者とぼく」、2年生は出口翔平さんの「思いやり」、3年生は岩井星奈さんの「私らしく生きるということ」でした。各作文に対して約30分という限られた時間の中でしたが意見交換を行いました。どの作文に対しても、作文への感想、自分の思い、自分の経験からの感想、家族のこと、自分の悩み、自分のこと、初めて気づいたこと、これからの決意など一人ひとりが真剣に考え、

時間が限られていたこともあったのですが、延べ70人（全校生徒の約4分の1）ほどの人が意見を述べました。また意見を述べるだけでなく、全生徒が真剣に作文を聴き、他の人の発表を聴き、考えていました。それぞれの作文についての意見交換の後に、作文発表者が感想を述べました。フォーラムの最後に教頭先生が感想を述べ、自分のことについて話をされ閉会しました。紙面ではうまく伝えられませんが、相手のことを考え、いじめをなくすなど人権について考えることができたすばらしいフォーラムになったと思います。これからは一人ひとりがフォーラムの時に**感じた気持ちを忘れず持ち続け、自分の行動や言葉にいかしていくこと**が大切です。みなさんが、港中学校はもちろん中学校を卒業しても「人権」を守る世界を創ってくれることを期待しています。

全員のフォーラム後の感想を紹介したいのですが、一部掲載します。

●生徒の感想

- ・高齢者の人に対する思いや言動はこれからは気をつけたい。
- ・思ったことを相手のことも考えないで言うので注意したい。
- ・困っている人がいたら助けてあげたい。
- ・人は個性があるのだから、見た目で判断するのではなく、自分らしく生きていきたい。
- ・人には笑顔で接する事ができるようになりたい。



- ・自分の個性を人前で打ち明けられることができるのはすごいと思う。
- ・他の人の意見を聴いて、そんな考え方もあるのだなあと感じた。
- ・自分の考えを安心してみんなの前で話せた。
- ・悩みを相談してもらえそうな人になりたい。
- ・今回いろいろ考えるきっかけになった。

- ・私も小さい時からコンプレックスがあったけど、周りの人に助けてもらった。
- ・自分でできることから少しだけでもいいので始めたい。
- ・人にはそれぞれ悩みがあって、他人にはわからないこともあるということを知った。
- ・いろいろなことにイライラするのではなく、一呼吸おいて考えたい。
- ・障がいを持っていても何も私と変わらない、と感じた。

●生徒以外の参加者の感想

- ・自分のことをみんなの前で話せたことに感動しました。
- ・今後の自分の行動について多くの発表があり、すばらしく、元気をもらいました。
- ・一人ひとりの「声」がきけてその中からいろいろな気づきがあってよかったです。
- ・生徒一人ひとりの発言がどんどんつながって、心の、思いのつながりを感じました。
- ・作文を読んだ生徒が「読んでよかった」と感想を述べることができたことが嬉しく思いました。

～ 保護者のみなさまへ ～

日ごろは本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

先日お願いしました学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。学校評価やいただきましたご意見を現在集約しております。集約ができましたら、学校だよりでお知らせします。